

他に代替治療のない放射性ヨウ素治療（RAI）不適応の分化型甲状腺癌患者を対象としたソラフェニブの有効性及び安全性に関する臨床研究（RAI-skip study）

目的

甲状腺癌は比較的予後良好な癌ですが、癌が再発または他臓器に転移することがあります。その場合、甲状腺摘出再手術を行い、放射性ヨウ素治療を行います。

しかしながら、日本では放射性ヨウ素治療が可能な医療機関が少なく、放射性ヨウ素治療で効果が得られない患者さんも多くいます。

ソラフェニブ（商品名ネクサバル）は放射性ヨウ素治療で効果が得られない甲状腺癌の患者さんを対象に治療の開発が行われていた新規分子標的薬です。放射性ヨウ素治療を受けていない患者さんでのソラフェニブの有効性と安全性を検証するための臨床試験がこのRAI-skip試験です。

本臨床試験は筑波大学 乳腺甲状腺内分泌外科、日本医科大学 内分泌外科を中心として、国内の多数の施設で行われています。